

## IV 第 56 回市政に関する世論調査の結果

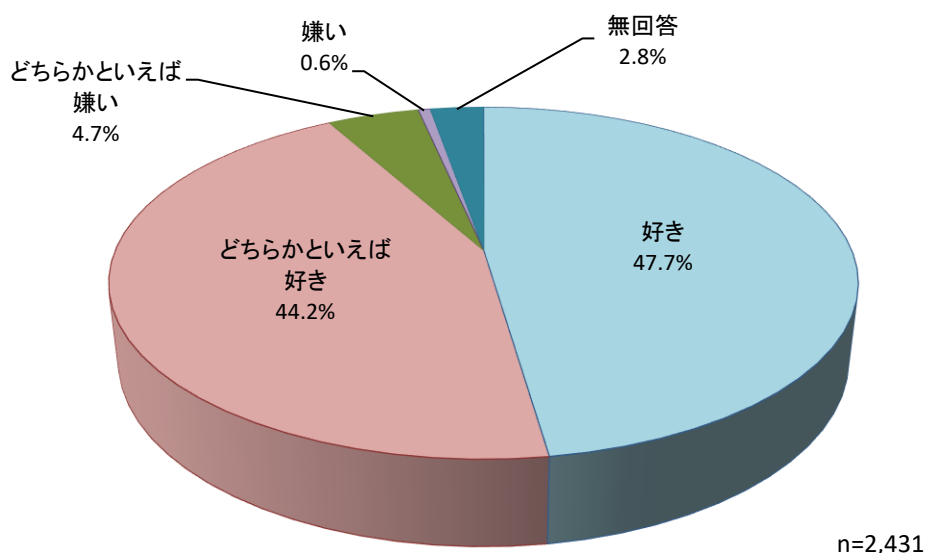
### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

#### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割強

問 1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,431
1	好き	47.7%
2	どちらかといえば好き	44.2%
3	どちらかといえば嫌い	4.7%
4	嫌い	0.6%
	(無回答)	2.8%

<図IV-1-1>全体



宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が47.7%、「どちらかといえば好き」が44.2%で、これらを合わせた【好き（計）】が91.9%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が4.7%、「嫌い」が0.6%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は5.3%と1割に満たない。(図IV-1-1)

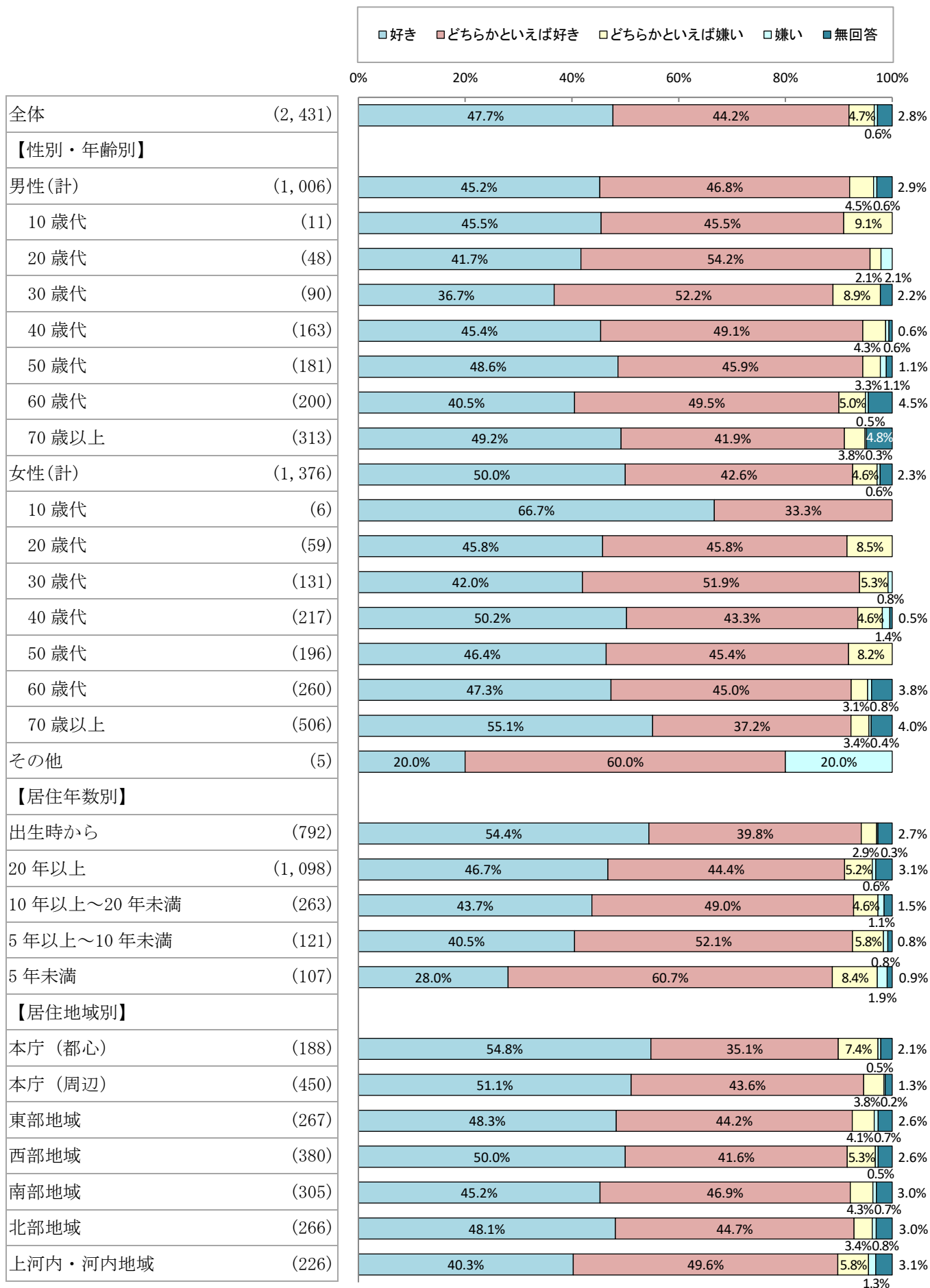
#### <参考>

性別・年齢別で見ると、【好き（計）】は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が95.9%であった。【好き（計）】は、性別・年齢別に関係なく約8割を超えている。一方、【嫌い（計）】は<その他>を除くと<男性/10歳代>が9.1%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が8.9%、<女性/20歳代>が8.5%と続いている。(図IV-1-2)

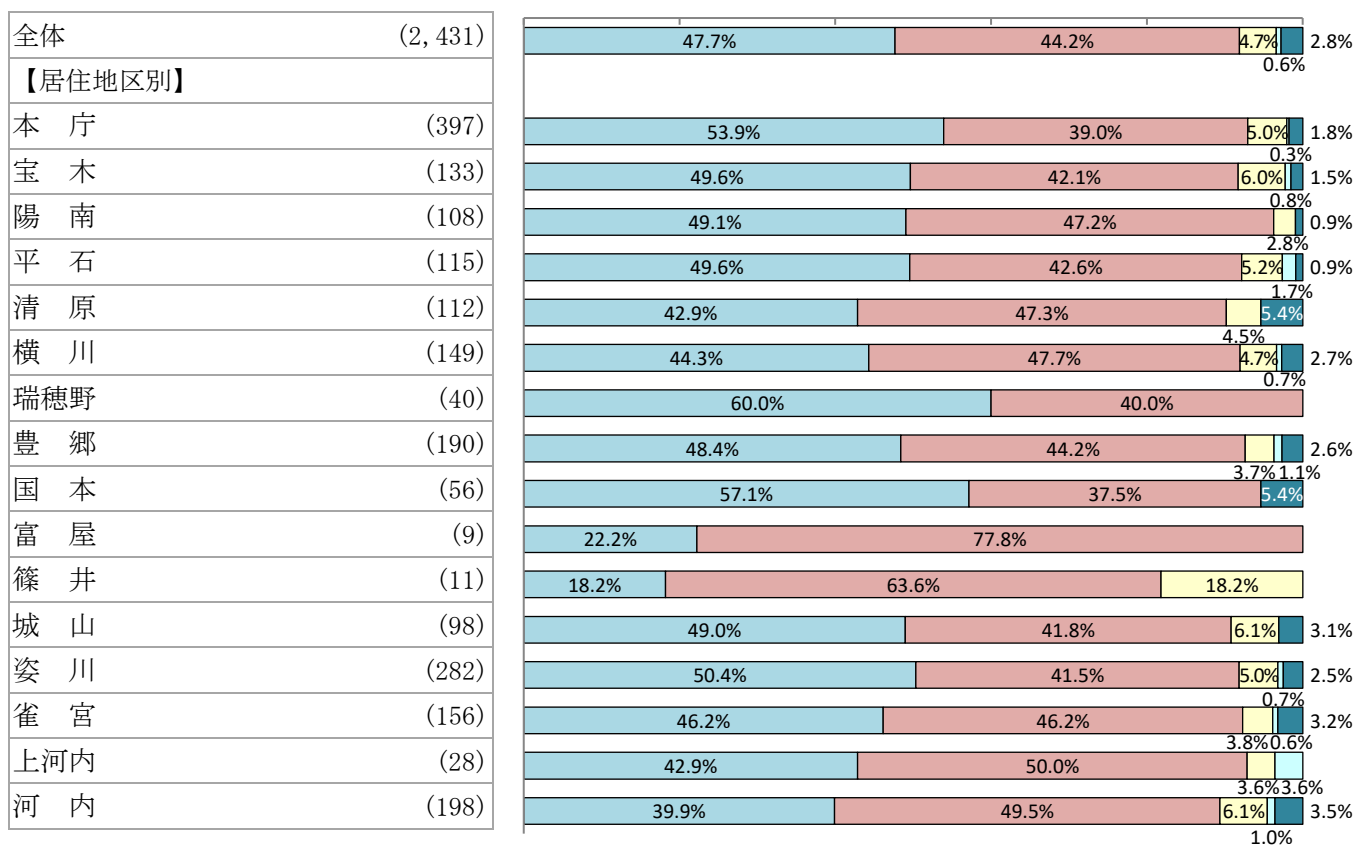
居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が94.2%で最も高く、次いで<10年以上～20年未満>が92.7%、<5年以上～10年未満>が92.6%と続いている。一方、【嫌い（計）】は<5年未満>が10.3%で最も高く、次いで<20年以上>が5.8%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は<本庁(周辺)>が94.7%で最も高く、次いで<北部地域>が92.8%であった。一方、【嫌い（計）】は<本庁(都心)>が7.9%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が7.1%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別



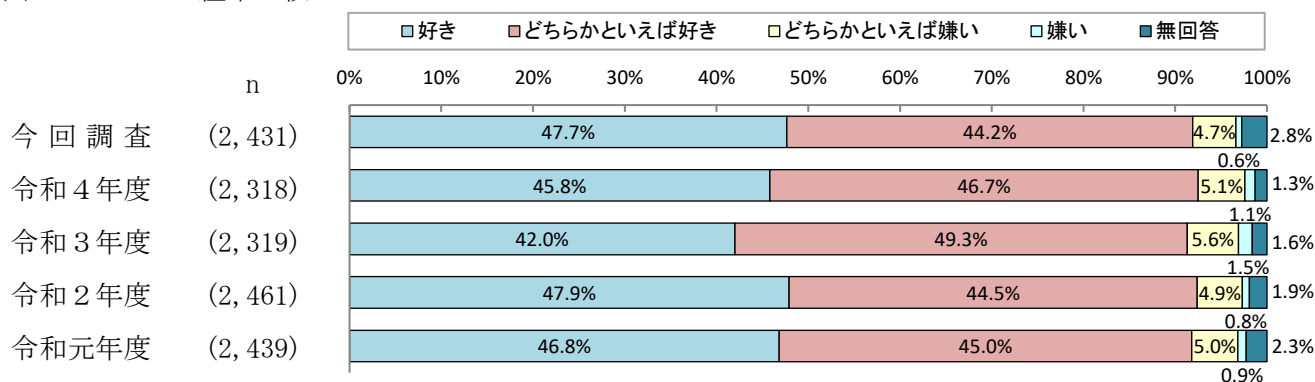
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和5年度	47.7%	44.2%	4.7%	0.6%	2.8%
令和4年度	45.8%	46.7%	5.1%	1.1%	1.3%
令和3年度	42.0%	49.3%	5.6%	1.5%	1.6%
令和2年度	47.9%	44.5%	4.9%	0.8%	1.9%
令和元年度	46.8%	45.0%	5.0%	0.9%	2.3%

<図IV-1-4>経年比較



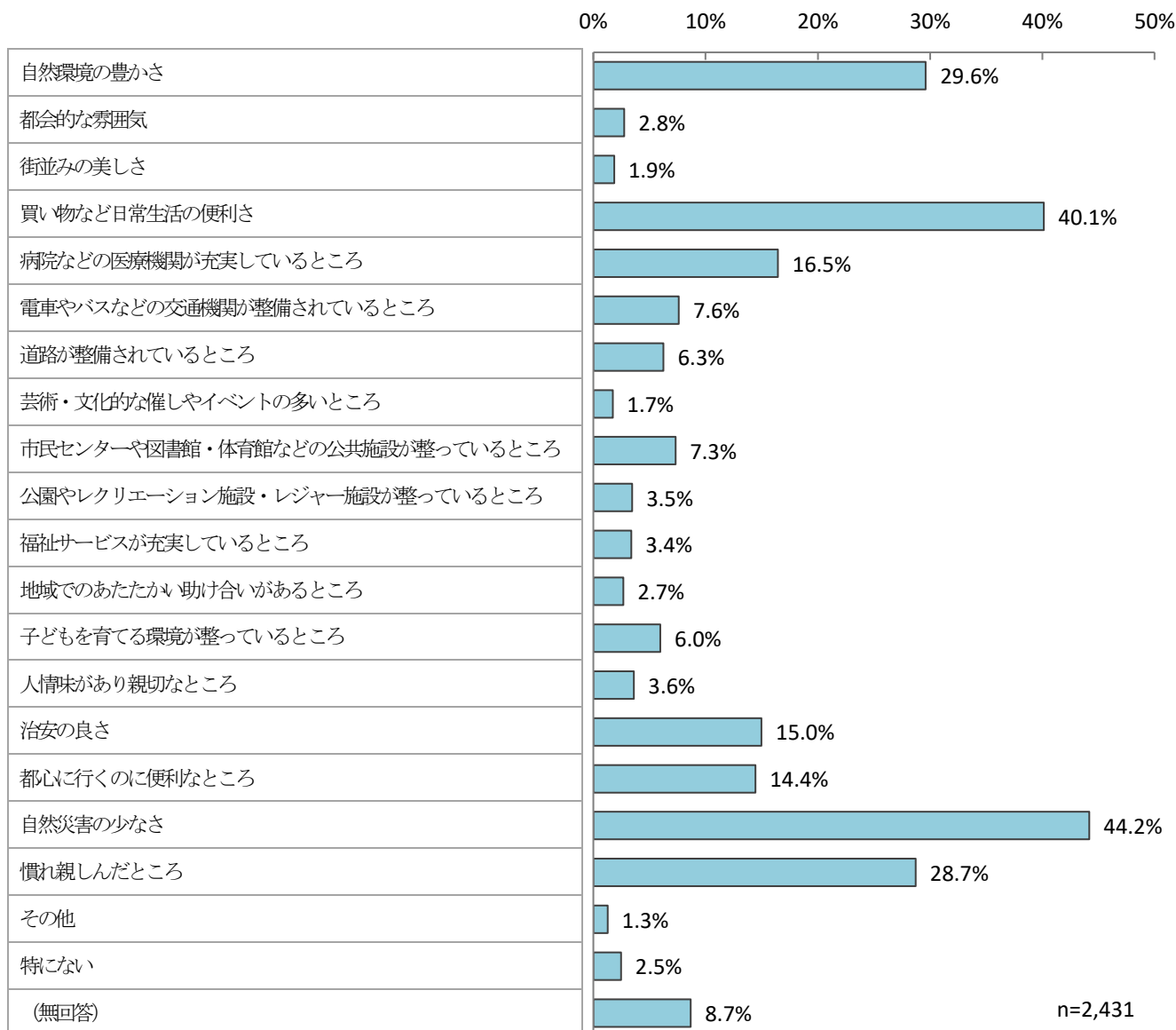
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。  
 (図IV-1-4)

## (2) 好きな理由

### ◇ 「自然災害の少なさ」が4割半ば

問2	宇都宮市の好きだと思ふところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,431
1	自然環境の豊かさ	29.6%
2	都会的な雰囲気	2.8%
3	街並みの美しさ	1.9%
4	買い物など日常生活の便利さ	40.1%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	16.5%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	7.6%
7	道路が整備されているところ	6.3%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	1.7%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	7.3%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.5%
11	福祉サービスが充実しているところ	3.4%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	2.7%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	6.0%
14	人情味があり親切なところ	3.6%
15	治安の良さ	15.0%
16	都心に行くのに便利なところ	14.4%
17	自然災害の少なさ	44.2%
18	慣れ親しんだところ	28.7%
19	その他	1.3%
20	特にない	2.5%
	(無回答)	8.7%

<図IV-1-5>全体



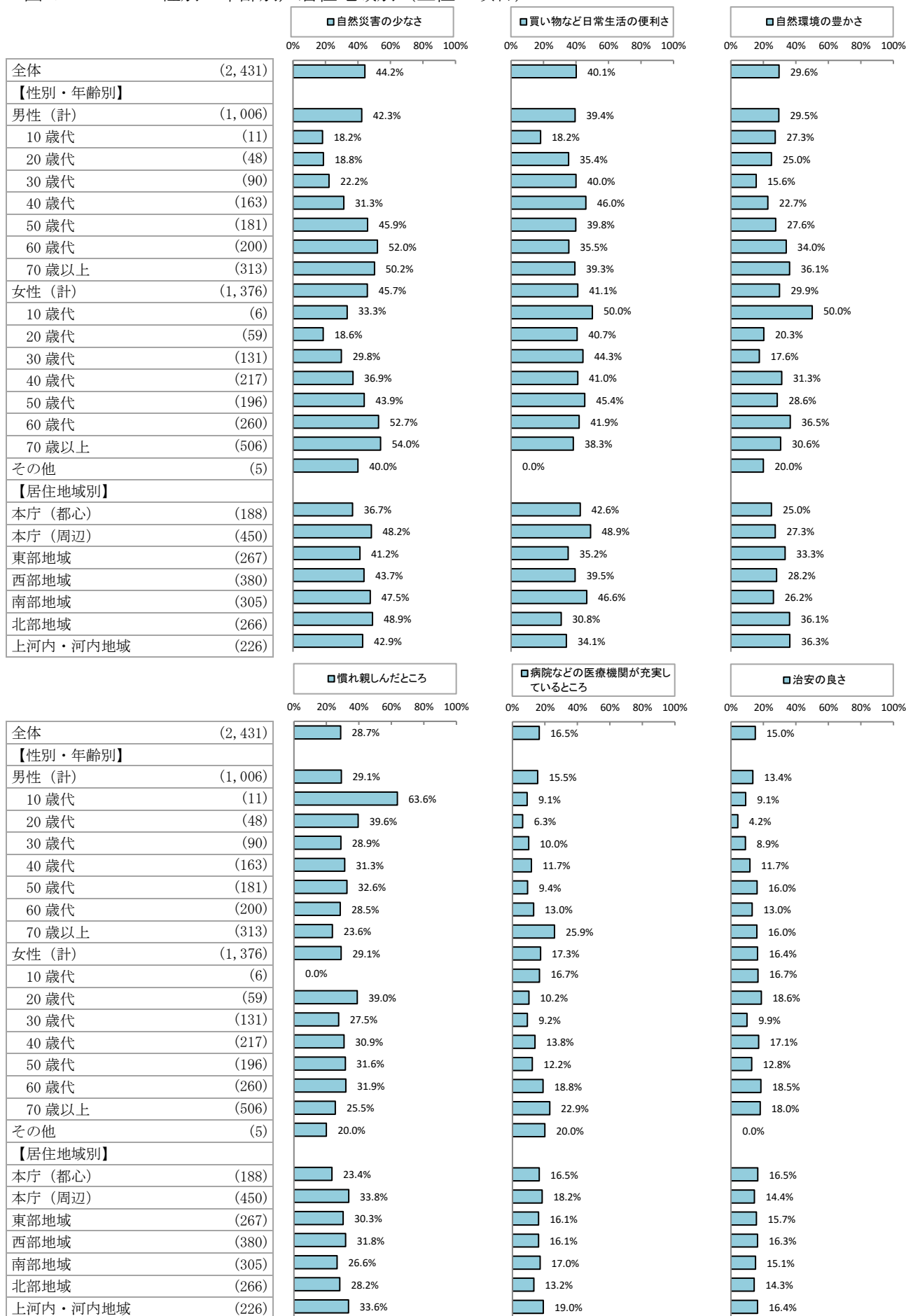
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で44.2%、2位「買い物など日常生活の便利さ」で40.1%、3位「自然環境の豊かさ」で29.6%、4位「慣れ親しんだところ」で28.7%、5位「病院などの医療機関が充実しているところ」で16.5%、6位「治安の良さ」で15.0%という順であった。(図IV-1-5)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性/70歳以上>が54.0%で最も高く、次いで<女性/60歳>が52.7%、<男性/60歳代>が52.0%と続いている。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性/10歳代>が50.0%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が46.0%であった。「自然環境の豊かさ」は<女性/10歳代>が50.0%で最も高く、「慣れ親しんだところ」は<男性/10歳代>が63.6%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<男性/70歳以上>が25.9%、「治安の良さ」は<女性/20歳代>が18.6%で最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は、各地域で4割弱から約5割となっている。「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>が48.9%、「自然環境の豊かさ」は<上河内・河内地域>が36.3%、「慣れ親しんだところ」は<本庁(周辺)>が33.8%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<上河内・河内地域>が19.0%、「治安の良さ」は<本庁(都心)>が16.5%で最も高かった。(図IV-1-6)

<図IV-1-6>性別・年齢別／居住地域別（上位6項目）

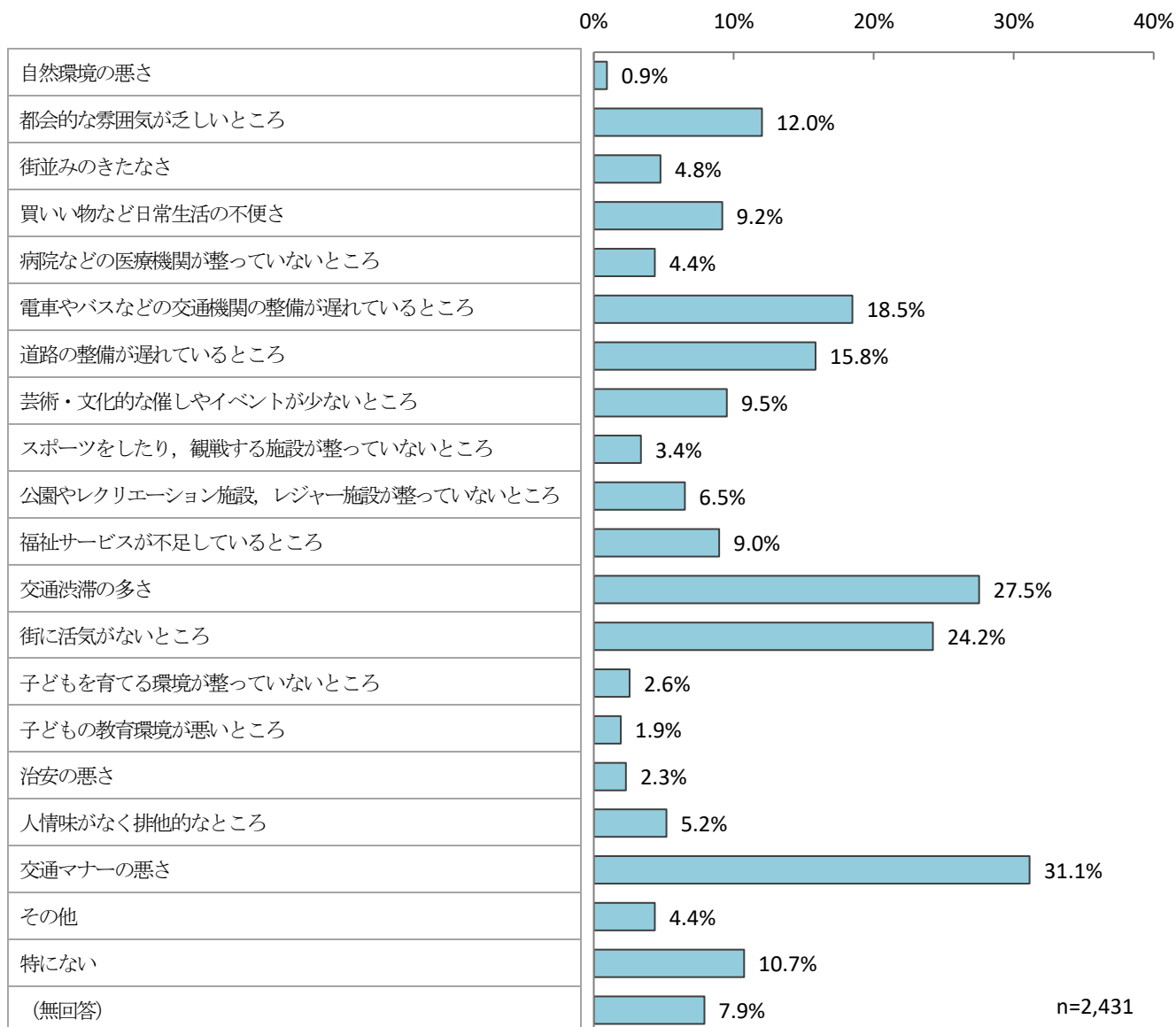


### (3) 嫌いな理由

#### ◇ 「交通マナーの悪さ」が約3割

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,431
1	自然環境の悪さ	0.9%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	12.0%
3	街並みのきたなさ	4.8%
4	買い物など日常生活の不便さ	9.2%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.4%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	18.5%
7	道路の整備が遅れているところ	15.8%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.5%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	3.4%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	6.5%
11	福祉サービスが不足しているところ	9.0%
12	交通渋滞の多さ	27.5%
13	街に活気がないところ	24.2%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.6%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.9%
16	治安の悪さ	2.3%
17	人情味がなく排他的なところ	5.2%
18	交通マナーの悪さ	31.1%
19	その他	4.4%
20	特にない	10.7%
	(無回答)	7.9%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で31.1%、2位「交通渋滞の多さ」で27.5%、3位「街に活気がないところ」で24.2%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で18.5%、5位「道路の整備が遅れているところ」で15.8%、6位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で12.0%という順であった。(図IV-1-7)

<参考>

上位6項目について<その他>を除く性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<男性/50歳代>が40.3%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が39.7%であった。「交通渋滞の多さ」は<男性/10歳代>が63.6%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が41.1%であった。「街に活気がないところ」は<男性/70歳以上>が32.6%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<男性/10歳代>が27.3%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<男性/20歳代>が20.8%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<女性/20歳代>が28.8%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が27.3%であった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<本庁(都心)>が36.7%で最も高かった。「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が34.8%で最も高く、「街に活気がないところ」は<上河内・河内地域>が27.0%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が25.2%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が17.3%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<本庁(都心)>が16.5%で最も高かった。(図IV-1-8)



<図IV-1-8>性別・年齢別／居住地域別

